

知りたい！

2022年4月1日(金)～5月31日(火)

四日市と私の住むまちのこと



夏休みの自由研究に頭を悩ませる子どもから地区の活動や郷土研究をしている大人まで、たくさんの方が「四日市のこと知りたくて」、「〇〇地区について調べているのですが…」と、地域資料室をおとずれます。今回は、そんな「身近なまち」を知る資料を紹介します。新たな魅力も発見できるかも？

まずは、「四日市市ってどんなところ？」

・今の四日市市を知りたい

「広報よっかいち」(毎月2回発行) / 「四日市こども広報」(小中学校で配布)

『のびゆく四日市』(四日市市教育委員会発行。市内小学校の社会科の副読本)

「よっかいちのあらまし」(四日市市発行。地図と共に、市の沿革・概要・総合計画などをコンパクトに紹介)

『四日市STYLE』(市政概要) / 「四日市市総合計画2020-2029」(四日市市のこれからを知るにはコレ)

・歴史を知りたい

『四日市市史』全20巻(四日市市) / 『四日市市史研究』全15号(四日市市)

『目でみる郷土史 四日市のあゆみ』(四日市市役所) / 『写された四日市』(四日市市立博物館)

『四日市市立博物館常設展示案内』(四日市市立博物館)〈旧常設展示の図録〉

『まんが四日市ものがたり』(四日市異業種交流プラザ) / 『三重県の歴史』(山川出版社)

四日市市の
市の花は、サルビア (1972～)
市の木は、クスノキ (1972～)
市の鳥は、ユリカモメ (2005～)
です。



日本一!?四日市のあれこれ

「大入道山車」からくり人形の大きさ

「末広橋梁」現役最古の可動橋

「四日市あすなろう鉄道」の線路幅の狭さ

「かぶせ茶」の生産量

「土鍋」のシェア

(「広報よっかいち 平成24年連載」、四日市市市役所ホームページ、
『四日市もっと知り隊検定』四日市商工会議所/編 より)



地名を調べたい 読み方や由来を知りたい時には、地名辞典！

『角川日本地名大辞典 24』(角川書店)

『日本歴史地名大系 24』(平凡社)

『勢陽五鈴遺響 1』(三重県郷土資料刊行会)

『大日本地名辞書 第2巻』(富山房)

『地名の古代史 近畿篇』(河出書房新社)



Q. あなたの住んでいる地区は、右上の地図のどこでしょう？

ヒント:市立図書館がある常磐地区は★マークのところですよ。



正解は
裏面にあるよ

住んでいる地区のことを知りたい！

四日市には24の地区があります。地域資料室では、「市民センターだより」「地区広報」・マップ・郷土史などを、地区ごとに分けて置いてあります。ここでは、各地区に関する資料の一部を紹介します。

●地図から知る

〈常磐〉「常磐 水と緑と文化のマップ」 〈小山田〉「小山田つながるMap」
 〈川島〉「川島ふるさと発見MAP」 〈神前〉「神前ふるさとマップ」
 〈大矢知〉「大矢知地区ふるさとMAP」 〈水沢〉「すいざわぐるっとMAP」



●掲載記事から知る

〈富洲原〉「昭和の富洲原」(地区広報連載) 〈塩浜〉「地域のお寺さんお宮さん」(地区広報連載)
 〈海蔵〉「おばちゃま探検隊」(地区広報連載) 〈八郷〉「八郷の歴史紹介」(センターだより連載)
 〈河原田〉「特集 河原田みかん」(「広報よっかいち」令和3年12月上旬号)
 〈楠〉「特集 吉崎海岸」(「広報よっかいち」令和3年6月上旬号)

●郷土史誌から知る

〈羽津〉『はづ 第1～3集』(羽津郷土史と民俗研究会) 〈四郷〉「四郷の先覚者たち」(四郷ふるさと実行委員会)
 〈三重〉『三重郷土資料館』(三重地区連合自治会) 〈下野〉『ふるさと下野(改訂版)』(下野地区市民センター)
 〈橋北〉『ふるさと橋北』(橋北地区郷土史発行委員会)

●地区の自然と保護活動を知る

〈日永〉『梅香』(「日永梅林・登城山」を復活させる会) 〈桜〉『桜ウオッチング』(桜地区社会づくり推進協議会)
 〈保々〉『保々の自然保護活動』(保々地区連合自治会) 〈県〉『グリーンパーク岡山』(県地区まちづくり委員会)

●伝統・文化を知る

〈中部〉『四日市祭』(四日市市の祭りを学ぼう会) 〈内部〉『うつべ自慢の郷土めし』(内部地区まちづくり推進協議会)
 〈富田〉『「鳥出神社の鯨船行事」継承マニュアル』(四日市市教育委員会社会教育課)



四日市市立図書館 〒510-0821 四日市市久保田一丁目2番42号

Tel 059-352-5108 Fax 059-352-9897

開館時間/(平日)9:30～19:00(土日祝)9:30～17:00 休館日/月、第2,4火、年末年始、特別整理期間